

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年9月28日

①学校名:	山形大学	②所在地:	山形県山形市小白川町一丁目4-12		
③課程名:	食と農のビジネス塾	④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H29.5.19
⑥責任者:	学術研究院 教授 小沢 互	⑦定員:	30	⑧期間:	9ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	農業を志す人材、更なる成長を目指す農業者が優れた経営感覚と販売ノウハウを獲得し、このような人々をサポートするための人材が求められるビジネス感覚、柔軟な対応力の開発を目的として、農業経営に関する基礎力、実践力、対応力を総合的に養成するため、大学教員による基礎力を高める講義(座学)、コンサルタントや有力農家等の実践者による経営や販売などの実践力を高める講義(座学)、実績のあるサポート人材が加わり関係者がファシリテーターとなるワークショップ、新たな地平を開いた先駆者の取り組みを学ぶ視察研修、消費者との直接的な対応による販売ノウハウを実感する販売実習、これらの能力開発を踏まえたビジネス計画書作成などの多様かつ総合的なカリキュラムを実施する。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ・農業経営及び支援者として意欲を持つもの		
⑫対象とする職業の種類:	農業者、関連企業従事者、関連団体、地方公務員				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 農業者は優れた経営感覚と販売ノウハウを獲得し、支援者はそれを支援できる技能		(得られる能力) マネジメント能力		
⑭教育課程:	食と農のビジネスの意義と役割・研修の狙い、農業の経営戦略、フードシステム等により基礎的な知識を修得するとともに、ビジネス塾参加 私の狙い(ワークショップ)やケースメソッドでグループ討議、農場(企業)実習(宿泊研修)で視察研修、ビジネス計画書作成で農と食のビジネスの知識・経営管理を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	120時間以上を履修し、ビジネス計画書を作成し、その審査に合格したもの				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書 (食の6次産業化プロデューサー・レベル3を申請予定)				
⑰総授業時数:	166.5	⑱要件該当授業時数:	125.5	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	75%
⑳成績評価の方法:	出席状況及び毎回課される授業評価に含まれる取組態度とビジネス計画書を総合的に評価				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。 受講生の科目毎の授業評価を元にして、「地域定住農業者育成コンソーシアム」において本プログラムの成果の検証や評価を行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了生に対し2年に1度アンケートを実施し、取り組み状況を把握することで効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 地域定住農業者育成コンソーシアム・理事会で、受講者の授業改善アンケートをもとに検討することにより教育課程の編成に企業等の意見等を取り入れている。 (自己点検・評価) 「地域定住農業者育成コンソーシアム」全体会議において、受講生の科目毎の授業評価などを元に自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	週半日の開講を原則としていること、出席できない授業については30時間を限度としてビデオDVDの貸出による自宅学習(レポート提出を求める)を認めている。				
㉕ホームページ:	(URL) <a href="http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/saiji/PDF/2016/20160628.pdf">http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/saiji/PDF/2016/20160628.pdf</a>				

事務担当者名:	遠藤 文武	所属部署:	山形大学農学部企画広報室
連絡先:	(電話番号)0235-28-2910 (E-mail) nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp		

\*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。